



## 首都直下地震の被害想定見直し

政府の中央防災会議の作業部会が12月19日に見直した被害想定を公表しました。被害想定の詳細はウェブで検索して頂ければご覧いただけると思います。たとえば以下のページなども参考になります。

<https://www.sankei.com/article/20251219-JAT6BOFU55AT7J62KAAVANPAWI/>

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20251219-GYT1T00543/>

<https://news.yahoo.co.jp/pickup/6563094>

但し、現在の被害想定の手法は過去の被災データに基づいているため、日本では高層建築物が地震で倒壊した事例が存在しません。それゆえタワーマンションなどの被害はゼロと評価されています。そのため実際のリスクを十分に反映できていない可能性についても指摘等もなされています。

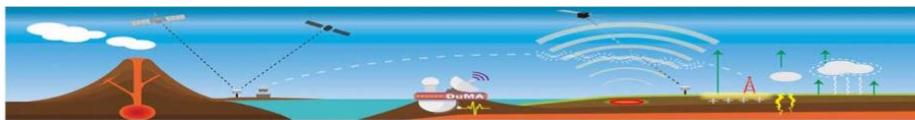
前回の被害想定は2013年に公表されていますので、12年ぶりの改訂という事になります。東京は人口集中がさらに進んだだけでなく、インバウンドの急激な増加といった12年前にはほとんど考慮されなかった状況もあります。言葉の問題だけでなく、特に欧米からの観光客の皆様は「地面が揺れる」という経験を全くされていない方も多くいらっしゃいます。日本人とは全く違う反応を示す可能性も大きいと推察されます。

また今回の被害想定で『要対処人口』という新指標が示されました。これまでの地震被害から、避難者1万人あたり40～100人の災害関連死が発生するとの指摘があり、たとえば人工透析患者の方にとって停電の長期化は生死に関わる状況となる可能性も存在します。

東日本大震災後のDuMA/CSOの経験では、上水道は比較的早く復旧しましたが、下水道の復旧は時間がかかりました。そうしますと水道が使えるようになっても「お風呂は使わないでください」「トイレは流さないでください」等、実際の生活では極めて困る事態が継続しました。つまり上水道と下水道は両方が復旧してはじめて役にたつのです。特に近年は下水道の老朽化が指摘されています。実際今年の1月には埼玉県八潮市で大きな陥没事故が発生し、トラックがその穴に転落し、運転手が死亡するという事がありました。トラック運転手の方は5月になりようやく発見された事は記憶に新しいかと存じます。この事故は本復旧まで5年から7年かかると推定されており、都市部のライフライン、特に下水道の老朽化は首都圏にとって大きな問題です。

また現代社会は“電気じかけ”です。スマホだけでなく、たとえばマンションのドアが停電で開かないとか、ガスも水道も復旧したのに給湯器が動作しない等、あらゆるものが電気が無いと動作しない状況になっています。

今の時期、ご自宅や会社で「何が対策として不足しているのか」を確認するのに良い方法として、たとえば暗くなってから3時間だけ、電気、ガス、水道を使わずに生活してみる事です。このような事を行なってみると、どこが危ないのか、何が不足しているのかを知る一助になるかと思います。

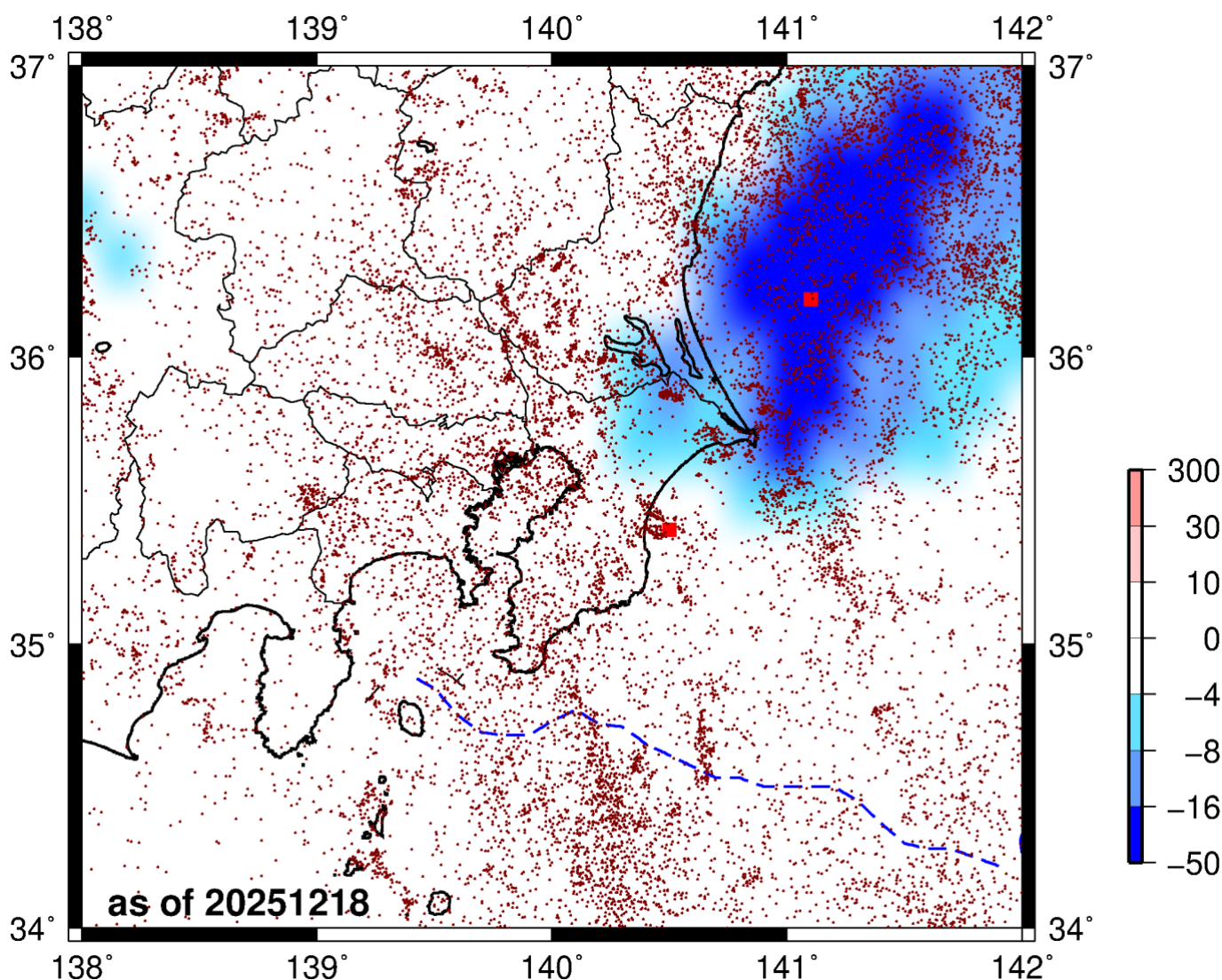


## 首都圏の地下天気図®

久しぶりに首都圏の地下天気図です。首都圏では茨城県南部や千葉県北西部の深さ60–80kmに「地震の巣」とよばれる地震多発地帯が存在します。東京では年間30回ほど有感地震が観測されますが、その多くがこれらの地震の巣で発生しています(「やや深発地震」と分類されています)。また首都圏の下には沈み込むフィリピン海プレートと太平洋プレートが存在し、極めて複雑な地下構造となっています。

そのため、首都圏においては深さ200kmまでに発生する地震を解析に用いています。さらに発生する地震の深さも考慮しています。

次にお示しする図は12月18日時点の M タイプ地下天気図で解析の深さを地下20kmとしています(20kmの深さを基準として、そこからの距離を計算に用いています。)



茨城県沖に顕著な地震活動静穏化領域(青い領域)が出現しています。次のページに茨城沖の地下天気図時間変化グラフをお示しします。



時系列のグラフから顕著な地震活動静穏化は3ヶ月ほど前から出現開始した事がわかりました。



グラフから2024年初頭から中程度の静穏化が消長を繰り返して発生していた事がわかります。それがここ数ヶ月で顕著な静穏化となった事がわかります。

茨城県沖は東日本大震災では大きく滑る事なく、一部割れ残った地域とされています。地震学的には M7クラスの地震がいつ発生してもいい状況と考えられている地域です。その地域で、現在地震活動静穏化の異常が発現しているという状況です。

DuMA ではこの茨城沖の静穏化異常を **Kk** の異常(確度は High)としてダッシュボードに追加したいと思います。詳しい解析は次号(年明け1月5日号)で行う予定です。